

2020年10月13日  
日興アセットマネジメント株式会社



高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付)

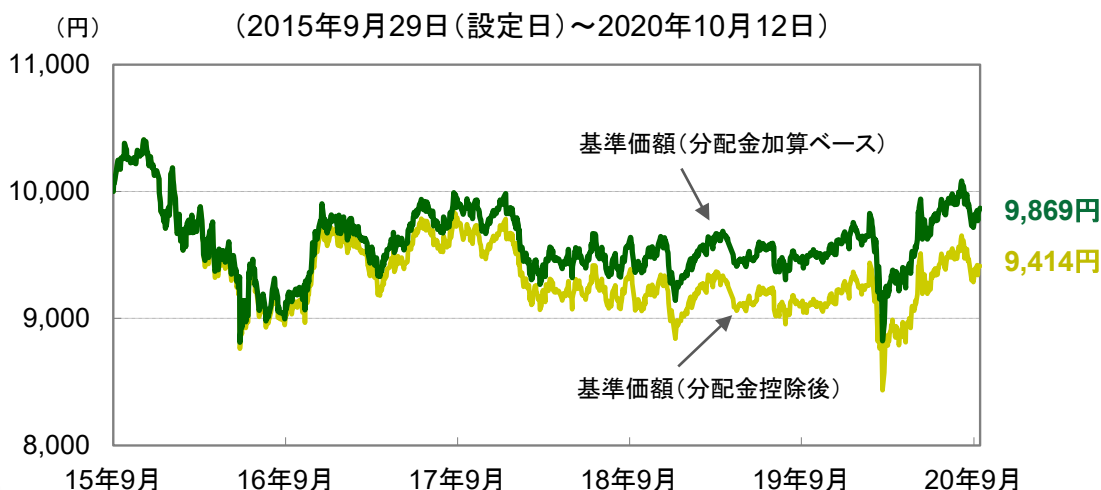
愛称：**ダブルス 2015-09**

2020年10月決算と運用状況について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、ご愛顧いただいております「高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付)／愛称:ダブルス 2015-09」は、2020年10月12日に決算を行いました。  
本資料では、当期の分配金についてご報告するとともに、マザーファンドの運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドのコメントをご紹介します。

設定来の運用実績

＜基準価額の推移＞



設定来の分配金実績(税引前、1万口当たり)

2016年 4月	2016年 10月	2017年 4月	2017年 10月	2018年 4月	2018年 10月	2019年 4月	2019年 10月	2020年 4月	2020年 10月	設定来 合計
50円	50円	50円	50円	50円	50円	50円	40円	40円	25円	455円

今回の決算

- ※ 基準価額は税引前、信託報酬(年率1.364%(税抜1.24%))控除後の1万口当たりの値です。
- ※ 分配金加算ベースとは、1万口当たり基準価額と設定来の1万口当たり収益分配金(税引前)累計額との合計額をさします。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付)／愛称:ダブルス 2015-09」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

## 市況動向と投資国について

### 市況動向：新型コロナウイルスの感染拡大が金融市場の混乱要因に

2019年の金融市場は、主要先進国の緩和的な金融政策が長期金利の低下（債券価格は上昇）要因となった一方、米中問題や英国のEU（欧州連合）離脱問題の進展から市場心理が改善し、年後半にかけて長期金利が上昇基調（債券価格は下落）となりました。その後、2020年2月末から3月中旬にかけて、新型コロナウイルスの感染が世界に拡大したことを受け、債券市場は大きな混乱に見舞われました。市場心理の悪化により、主要国債券の利回りは低下したものの、リスク回避の円高が進んだことで、投資通貨は円に対して下落しました。そうした中、当ファンドの基準価額（分配金加算ベース\*）は3月中旬にかけて大きく下落しましたが、6月上旬には下落前の高値を回復しました。

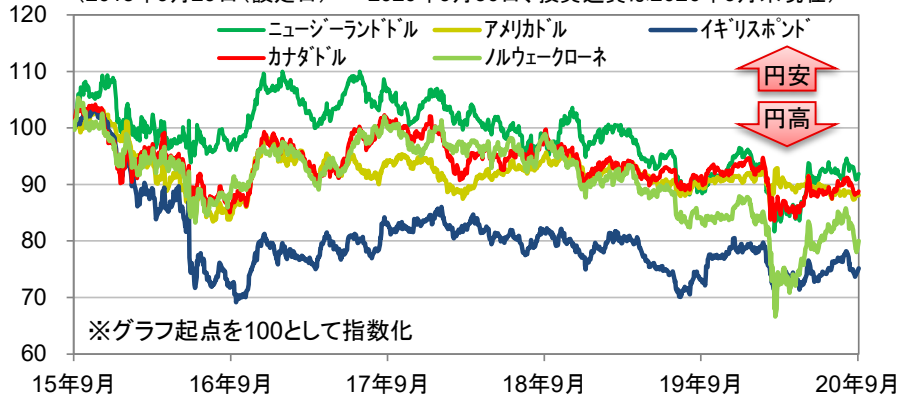
\* 分配金加算ベースとは、1万口当たり基準価額と設定来の1万口当たり収益分配金（税引前）累計額との合計額をさします。

### 投資国の状況と投資比率の変更：各国の状況に応じ、機動的に対応

- 新型コロナウイルスの感染が世界に広がった2月当時、当ファンドのポートフォリオは一般に安全資産とされる米国債券の投資比率が高く、相対的に保守的な内容であったことから、**通貨別比率の大幅な変更は行ないませんでした**。一方で、世界の中央銀行が更なる金融緩和を実施すると見込まれたことから、数ヶ月の間は債券価格の上昇が期待されると判断し、**債券のデュレーションを長めにとる**こととしました。
- その後、各国・地域で大規模な金融・財政政策が実施されたことで、世界景気の落ち込みはやがて底打ちし、金融市場も次第に回復すると見込まれたことから、**5月に米ドルの投資比率を引き下げ**、比較的堅調な経済の回復が予想された**ニュージーランドドル**や、原油価格の回復が上昇を後押しするとみられた**ノルウェークローネの投資比率を引き上げ**ました。6月以降は、FTA（自由貿易協定）などを巡る英EU間の交渉の難航や景気回復の遅れが懸念されたことから、**イギリスポンドの投資比率を引き下げ**ました。
- 各国・地域で実施された大規模な金融・財政政策は、経済活動の再開と共に实体经济に浸透し始めており、世界経済は徐々に回復に向かいつつあります。ただし、先行きの不透明感が払拭されないことから、主要中央銀行は**現在の金利水準を当面維持すると考えられ、引き続き債券市場の追い風になる**と期待されず。今後も世界の動向を慎重に見極め、常に変化する投資環境を踏まえた運用に努めます。

#### <投資通貨（対円レート）の推移>

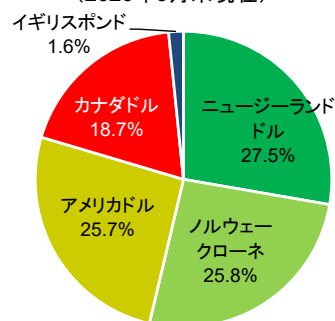
（2015年9月29日（設定日）～2020年9月30日、投資通貨は2020年9月末現在）



※ 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

#### <実質通貨別投資比率>

（2020年9月末現在）



※ 上記は当ファンドの対純資産総額の比率です。比率にはその他があるため100%とならないことがあります。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「高金利先進国債券マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド2015-09（早期償還機能付）／愛称：ダブルス2015-09」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。